

# 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

一般社団法人 公営交通事業協会

## 1 会員及び役員の状況

令和3年度における会員及び役員の状況は、次のとおりである。(正会員、特別会員及び賛助会員名簿並びに役員名簿は、資料1のとおり)

### (1) 正会員

- ① 正会員数 22都市
- ② 入会・退会 なし
- ③ 事業別会員数  
バス事業 18都市  
地下鉄事業 8都市  
路面電車事業 5都市 (うち軌道整備事業 1都市)  
新交通事業 1都市  
モノレール事業 1都市 (令和元年11月より休止中)

### (2) 特別会員

- ① 特別会員数 1社 (大阪市高速電気軌道株式会社)
- ② 入会・退会 なし

### (3) 賛助会員

- ① 賛助会員数 19社・1団体
- ② 入会・退会 なし
- ③ 事業別会員数  
交通事業 13社  
バス車両メーカー 1社  
損害保険業 2社  
その他の事業 3社・1団体

### (4) 役員

- ① 役員数 理事12名 監事3名 計15名
- ② 役員の選任状況

#### 1) 補欠選任 (令和3年4月22日)

役員名	会員都市名及び役職名	選任	辞任
理事	函館市企業局交通部長	小笠原 聡	大久保 孝之
理事	名古屋市交通事業管理者	小林 史郎	河野 和彦
理事	北九州市交通事業管理者	福本 啓二	池上 修
監事	神戸市市交通事業管理者	城南 雅一	岸田 泰幸

2) 副会長の選定（令和3年5月27日）

氏名	会員都市名及び役職名	新任・再任
小林 史郎	名古屋市交通事業管理者	新任

3) 補欠選任（令和3年7月1日）

役員名	会員都市名及び役職名	選任	辞任
理事	(一社)公営交通事業協会事務局長	細見 邦雄	杉田 憲正

4) 常勤の理事の選定（令和3年7月2日）

氏名	会員都市名及び役職名	新任・再任
細見 邦雄	(一社)公営交通事業協会事務局長	新任

## 2 会議の開催

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに開催した総会、理事会及び決算監査の実施状況は、次のとおりである。

### (1) 総会

#### ○ 令和3年度第1回臨時総会（みなし決議 令和3年4月22日）

- 1) 提案事項  
議案 役員の補欠選任
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

#### ○ 令和3年度定時総会（みなし決議 令和3年6月11日）

- 1) 提案事項  
第1号議案 令和2年度事業報告  
第2号議案 令和2年度決算  
第3号議案 令和3年度事業計画（報告）  
第4号議案 令和3年度収支予算書（報告）  
第5号議案 令和3年度の会費について（案）  
第6号議案 一般社団法人公営交通事業協会の会費規程の一部改正（案）  
第7号議案 令和4年度政府施策に関する要望（案）  
第8号議案 理事の補欠選任（案）
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。
- 3) 令和3年度定時総会は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、みなし決議により実施した。

#### ○ 令和3年度第2回臨時総会（みなし決議 令和3年9月29日）

- 1) 提案事項  
議案 令和3年度変更年会費（案）及び下期会費予定額（案）について
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。
- 3) 年会費の変更に係る令和3年度第2回臨時総会は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、みなし決議により実施した。

## **(2) 理 事 会**

### **○ 令和3年度第1回理事会(みなし決議 令和3年4月12日)**

- 1) 提案事項  
議案 令和3年度第1回臨時総会(みなし決議)について  
(案件 役員の補欠選任のための第1回臨時総会の開催)
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

### **○ 令和3年度第2回理事会(みなし決議 令和3年5月27日)**

- 1) 提案事項  
第1号議案 令和2年度事業報告(案)  
第2号議案 令和2年度決算(案)  
第3号議案 一般社団法人公営交通事業協会の会費規程の一部改正(案)  
第4号議案 令和4年度政府施策に関する要望(案)  
第5号議案 令和3年度定時総会の開催方法の変更について(案)  
第6号議案 副会長の補欠選定(案)  
第7号議案 事務局長交代人事の承認について  
第8号議案 理事の補欠選任(案)  
第9号議案 職務執行状況報告
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。
- 3) 令和3年度定時総会の提出議案に係る令和3年度第2回理事会は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、みなし決議により実施した。

### **○ 令和3年度第3回理事会(みなし決議 令和3年7月2日)**

- 1) 提案事項  
議案 常勤の理事の選定
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。

### **○ 令和3年度第4回理事会(みなし決議 令和3年9月16日)**

- 1) 提案事項  
第1号議案 令和3年度変更年会費(案)及び下期会費予定額(案)について  
第2号議案 令和3年度第2回臨時総会(みなし決議)について
- 2) 上記の議案は原案のとおり決定された。
- 3) 年会費の変更に係る令和3年度第4回理事会は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、みなし決議により実施した。

### **○ 令和3年度第6回理事会(みなし決議 令和4年3月28日)**

- 1) 提案事項  
第1号議案 令和4年度事業計画書  
第2号議案 令和4年度収支予算書  
第3号議案 令和4年度会費について  
第4号議案 令和4年度定時総会の日時、場所等について
- 2) 上記の議案は、すべて承認された

- 3) 令和4年3月18日の令和3年度第5回理事会(みなし決議)において、令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)等を諮ったところ、各会員の経営状況を鑑み、事業の見直しを行い、会費の減額を行う必要がある、とのご意見により、成立せず、その後、3月28日の第6回理事会(みなし決議)において、その修正案を提案し、決定された。

### (3) 決算監査

#### ○ 令和2年度決算監査

- 1) 開催 令和3年4月30日
- 2) 書面による監査

令和2年度決算監査については令和元年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、書面により実施した。

## 3 調査・研究事業

会員都市のご協力等により、公営交通事業に関し、以下の事項について調査を行い、要望書の作成、会報「公営交通」等への掲載を行った。

### (1) 令和4年度政府施策要望に係る調査

会員の意見を踏まえて要望をとりまとめ、定時総会で承認を得て、要望書を作成した。

(「令和4年度政府施策に関する要望書」は令和3年7月会報に掲載)

<主な新規要望事項>

#### ① 公営交通事業全般

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、通常運行の確保が求められているところであり、これらに要する経費について財政支援を図ること。
- ・公営企業に係る特別減収対策企業債については、令和4年度も制度を継続すること。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、分散乗車・オフピーク通勤、在宅勤務の促進など、新しい日常が求められており、これらに対応した弾力的かつ柔軟な運賃制度を導入すること。

#### ② バス事業

- ・次世代自動車(ハイブリッドバス、燃料電池バス及び電気バス等)の導入(充電設備を含む)に対する補助率の引き上げ及び補助金の所要額の確保を図ること。
- ・停留所の安全性確保対策を促進するため、新たな補助制度を創設すること。
- ・一般バス(路線バス)の上限運賃の認可の基準については、コロナ禍における収入支出の状況、将来を見据えた経営の確保や働き方改革を踏まえ、運賃原価の算定について見直しを図るとともに、公営事業者の運賃の認可については、議会の議決を受けた条例により設定されていることを十分配慮されたいこと。

### ③ 地下高速鉄道事業

- ・ 駅のプラットフォームと車両乗降口の段差及び隙間を改良する工事について、補助対象とすること。
- ・ 公営地下鉄道事業の特例債制度については、令和4年度に終了するが、令和5年度以降も同様の措置を講じられたいこと。

## (2) 令和3年度の政府施策の調査

### 【公営交通事業全般】

- ① 公営交通事業関係の補助金等の政府予算及び地方債計画
  - ・ 令和4年度公営交通事業関係政府予算概算要求について（資料2参照）  
（令和3年9月会報に掲載）
- ② 令和3年度の地方公営企業繰出金について（令和3年4月会報に掲載）

### 【バス事業】

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に対する補助制度（令和3年4月会報に掲載）
- ② ノンステップバス等の導入に対する補助制度（令和3年4月会報に掲載）
- ③ 次世代自動車に対する補助制度（令和3年4月会報に掲載）

### 【地下高速鉄道事業】

- ① 地下鉄整備事業費補助制度
- ② 公営地下高速鉄道事業の特例債制度
- ③ 企業債の発行償還条件
- ④ 公的資金補償金免除繰上償還制度
- ⑤ 地下鉄事業への出資債に係る地方交付税における事業費補正方式
- ⑥ 地下鉄事業経営健全化対策
- ⑦ 地下鉄等の防災・安全対策事業に係る財政措置
- ⑧ 鉄道に関する技術上の基準を定める政令に基づき実施する事業

### 【路面電車事業】

- ① LRTシステムの整備に対する補助制度
- ② 地域公共交通バリア解消促進等事業

## (3) 公営交通事業の決算状況

- ・ 令和2年度公営交通事業に係る決算概要（令和3年8月会報に掲載）
- ・ 令和2年度公営交通事業決算調（令和3年8月小冊子発行）

## (4) 公営交通事業の運賃の現況（令和3年9月会報に掲載）

- ・ 公営交通事業運賃の優遇措置状況調 [令和3年4月1日現在]

## (5) バスの走行環境改善状況（令和3年8月会報に掲載）

- ・ 公共車両優先システム（PTPS）公営バス運用状況 [令和3年4月1日現在]
- ・ バス優先レーン・バス専用レーン・バス専用道路の設置状況  
[令和3年3月31日現在]

## 4 政府施策(令和4年度)に関する要望活動

### (1) 関係省庁(総務省、国土交通省及び環境省)に対する要望

- ① 要望日 令和3年7月16日(金)(環境省水・大気環境局の局長・審議官・課長については同月20日(火))
- ② 要望者 細見 邦雄 理事(協会事務局長)
- ③ 要望先
  - 総務省 総務大臣をはじめとする政務三役及び自治財政局の局長・審議官・課長。渡邊大臣官房審議官には、面会し要望内容を伝えた。
  - 国土交通省 国土交通大臣をはじめとする政務三役、事務次官、国土交通審議官及び総合政策局、道路局、鉄道局、自動車局の局長・次長・審議官・課長等
  - 環境省 事務次官、地球環境審議官及び地球環境局、水・大気環境局の局長・審議官・課長等

要望活動については、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等の観点から事務局において行った。

### (2) 関係国会議員(173名)に対する要望

札幌市、仙台市、東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市、福岡市、長崎県及び協会事務局が分担して、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等の観点から、都内の衆参両院国会議員会館の事務所等を、人数を制限して訪問、あるいは郵送して、8月に要望活動を行った。

### (3) 令和4年度政府予算概算要求の状況(資料2参照)

## 5 研修事業

### ○ 省エネルギー運転(エコドライブ)等研修及び運行管理者研修の中止

「省エネルギー運転(エコドライブ)等研修」は、省エネルギー問題への取組みの一つとして、また「運行管理者研修」は、交通安全と運行管理者の実務の向上のための取組みの一つとして、会員都市から多数、参加し、それぞれ十数年に亘り実施して来ているところであるが、4月23日に東京都、大阪府、京都府及び兵庫県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されたこと、及び5月7日に緊急事態措置を実施すべき区域が追加されるとともに、期間が5月31日に延長されたこと等を踏まえ、同感染症の感染防止の観点に鑑み、省エネルギー運転(エコドライブ)研修及び運行管理者研修を昨年度に続き中止した。

## 6 広報事業

公営交通の広報事業については、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業に係る助成金を得て、「環境に優しい公営交通広報ポスター制作・配布事業」と「モデル・バス停留所施設の設置事業」を実施している。

### (1) 広報委員会の開催

令和3年度における公営交通の広報ポスターの図案の決定及びモデル・バス停留所施設（上屋・ソーラー照明付き標識）の設置都市の選定を行うため、広報委員会を書面開催した。今年度の広報委員会は、4月23日（金）にルポール麴町で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面による開催とした。

#### ① 議題

- 1) 令和3年度宝くじ助成対象事業の事業計画について
- 2) 令和3年度モデル・バス停留所施設（上屋及びソーラー照明付き標識）の設置都市等の選定について
- 3) 令和3年度広報ポスターの採用作品の選定について

#### ② 委員会メンバー

地区代表として下記都市から1名、協会事務局から2名

八戸市（北海道・東北地区）

横浜市（関東・中部地区）

伊丹市（近畿地区）

宇部市（中国・四国地区）

長崎県（九州地区）

公営交通事業協会事務局

### (2) 環境に優しい公営交通広報ポスター制作・配布事業

令和3年度においても、会員都市から寄せられた意見などを基に、2種類のポスターを制作することとした。

上記の広報委員会において、制作会社から提案があったポスター5作品を審議した結果、採用するポスターのデザインとキャッチコピー2作品を決定し、8月下旬に各会員都市に配布した。

なお、本ポスターは1年間、当協会のホームページに掲載している。

#### ① 公営交通広報ポスター(その1)

<キャッチコピー>

「お出かけをエコで支えます。人に、環境にやさしい公営交通」

<制作枚数> A1判 800枚 B3判 8,425枚

#### ② 公営交通広報ポスター(その2)

<キャッチコピー>

「今日も明日もミライも🎵 人に、環境に優しい公営交通」

<制作枚数> B3判 8,625枚



公営交通広報ポスター（その1）B3判横



公営交通広報ポスター（その2）B3判横

### (3) モデル・バス停留所施設(上屋及びソーラー照明付き標識)の設置事業

#### ① 上屋の設置都市の選定について

令和3年度は、宝くじ助成対象として11基が認められたので、設置要望のあった以下の10都市に設置することとした。

青森市、八戸市（2基）、仙台市、横浜市、名古屋市、高槻市、宇部市、北九州市、佐賀市、鹿児島市

#### ② ソーラー照明付き標識の設置都市の選定について

令和3年度は、宝くじ助成対象として8基が認められたので、設置要望のあった下記の都市に設置することとした。

青森市、川崎市、伊丹市、宇部市、松江市、徳島市、北九州市、鹿児島市



令和3年度に設置したバス停留所上屋  
 ≪案内板、ベンチ付き≫  
 農業大学校前（佐賀市）



令和3年度に設置したソーラー照明付き標識  
 縄手（北九州市）

## 7 情報の収集・連絡事業

### (1) 情報の収集及び連絡

#### ① 会報「公営交通」(毎月)の発行

[令和3年4月号(第604号)～令和4年3月号(第615号)]

- 協会の総会・理事会の報告
  - 協会が実施している各種事業の実施状況、各種調査研究の報告
  - 公営交通事業に関連する関係省庁の発表資料
  - 会員都市の経営計画
  - 正会員及び賛助会員から寄稿された公共交通に関する情報を「会員だより」として、掲載。(資料3参照)
  - 関係省庁及び会員都市の人事情報
  - マスメディアの公営交通関係情報
- などを冊子にまとめ、毎月末に発行した。

#### ② 国からの通知の連絡(随時) (資料4参照)

- 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(活性化・継続事業抜粋(自動車関係)に関する運用方針)の改正について
- 自動車環境総合改善対策費補助金(事業用自動車における電動車の集中的導入支援)に係る交付要綱及び運用方針の制定並びに受付期間等について
- 新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言等、出勤者数の削減、催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について
- オミクロン株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について
- 「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」について
- 交通安全運動(内閣府国・国土交通省)等 合計85回

#### ③「公営交通事業協会通報」(随時)による連絡(資料5参照)

(令和3年度 第1号～第142号)

- 国の公営交通事業関係の予算・地方債計画関係資料(総務省・国土交通省)
- 地方公営企業繰出金について(総務省)
- 第2次「交通政策基本計画」の閣議決定について
- 鉄道駅バリアフリー料金制度の創設、地方部における支援措置の重点化について
- 「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン(追補版)」のとりまとめについて
- 緊急事態措置区域として東京都が追加されたこと等を踏まえた職場における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について(厚生労働省)
- 人事異動(総務省・国土交通省)
- その他交通事業に係る国土交通省等の発表資料 等

## (2) 情報の公開

ホームページによる会員都市の交通事業の積極的な PR 及び交通事業関係の各種情報の提供

- ① ホームページアドレス <http://www.mtwa.or.jp>
- ② ホームページの主な掲載内容
  - 1) 協会案内（概要、定款、役員一覧、会員名簿）
  - 2) 事業案内
  - 3) 会報・会員だより
  - 4) 会員都市
  - 5) 鉄軌道事業及びバス事業に係る新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン等

## 8 保険事業

令和3年度も会員都市、特別会員及び賛助会員を対象に、下記の保険契約を締結した。

### (1) 公営交通事業者等団体鉄道賠償責任保険

- ・ 加入都市及び会社  
正会員 10 都市 特別会員 1 社 賛助会員 13 社
- ・ 保険料 47,808,690 円

### (2) 公営地下鉄土木構造物保険

- ・ 加入都市 正会員 7 都市
- ・ 保険料 33,211,200 円

## 9 表彰事業

### (1) 令和3年度公営交通事業協会会長表彰

協会表彰規程に基づき、表彰の受賞候補者を会員都市へ推薦依頼し、10月の協会表彰審査委員会の審査を経て、受賞者が決定された。なお、表彰状及び記念品の授与は、各会員都市に依頼している。

1) 発明・考案表彰	3都市	4名
2) 永年無事故表彰	13都市	96名
3) 永年勤続表彰	10都市等	605名
4) 職員の模範となる行為の表彰	5都市等	6名
受賞者総数	16都市等	711名

### (2) 令和3年度国土交通大臣表彰

#### ○ 鉄道関係功労者大臣表彰

会員都市からの推薦に基づき、国土交通省に候補者の推薦を行い、国土交通大臣より以下の4都市1社の8名が受賞した。

東京都2名 横浜市1名 名古屋市2名 福岡市1名 大阪市高速電気軌

道株式会社2名

なお、表彰式は11月11日（木）に国土交通省3号館10階大会議室において行われた。

また、上記の大臣表彰の受賞者には、協会会長から記念品を贈呈した。

## 10 国及び関係団体との連携及び協力

### (1) 国土交通省の委員会等への参画

公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会

公共交通機関は、旅客施設又は車両等を新設・導入等する場合の適合義務を定めた「交通バリアフリー基準」やバリアフリー整備のあり方を示した「ガイドライン」等に基づき、整備することとされているが、その内容を見直し、必要に応じて改正を行っており、令和3年度においては、視覚障害者等への適切な誘導案内表示方法、特急車両のバリアフリー対策など、交通バリアフリー基準、ガイドラインへの反映に必要な事項を検討する本検討会が設置され、その検討会の委員として委嘱を受けている。

### (2) 公益社団法人日本バス協会・一般社団法人日本地下鉄協会

各協会の理事会等への出席の機会等を通じて、公営交通事業に関する情報の収集を行った。

### (3) 全日本自治団体労働組合（都市公共交通評議会）

運行管理者研修を同組合と共催して行ってきたが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症のまん延を防止する観点から、同研修を中止した。また、定時総会の開催（書面開催）にあたり、全日本自治団体労働組合 都市公共交通評議会議長から公営交通事業の健全化等に係る要請書を受理した。